

ボランティア

2010.6.26

13:00~16:30

安全衛生フォーラム

通算5回目となる今回のフォーラムでは、子どもたちのボランティア活動をメインテーマに、ボランティア・市民活動における事故や健康管理など「安全衛生」に関して、市民やボランティア、若者、高齢者など様々な視点から議論することを目的としています。

子どものボランティア活動については、学習指導要領に推奨するとの要綱が示され、東京都では学校安全教育プログラムに「災害発生時のボランティア活動を体験し、地域の一市民として地域に貢献する責任と態度を養っていくことが求められる」と記されるなど、児童・生徒がボランティア活動の担い手として期待されています。こうした中で、子どもたちを担い手として被災地に送り出す学校や家庭、受け入れる側の被災地域やボランティアセンターは、その意欲をどう受け止めればよいのか。フォーラムでは、これまでの事例や取り組みを振り返りつつ、子どもたちのボランティア活動についての安全の面から参加者と一緒に考えを深めていきます。

日時 平成22年6月26日（土）13:00～16:30

会場 日本財団ビル（東京都港区赤坂1丁目2番2号（下図参照）
東京メトロ 虎ノ門・溜池山王・国会議事堂前 各駅から各徒歩6分）

プログラム（ホール）

13:00~13:10
開会・主催者あいさつ

13:10~15:00
研究会からの報告

宇田川規夫（国際救急法研究所理事長）

事例報告

- ・被災地における子どもたちの活動とボランティアセンターの取り組み
- ・平時における学校での取り組み など

進行 加納佑一（防災ユースフォーラム）

青木航志（下諏訪町災害ボランティア連絡会）

近藤吉輝（呉市社会福祉協議会）

矢崎良明（全国学校安全教育研究会会長／板橋区立高島第1小学校長）

15:15~16:30
パネルディスカッション

「市民・ボランティアが安全に活動するには」

ホール前ホワイエ

13:00~16:30
パネル展示

会場アクセス



お問合せ（事務局）

NPO法人
日本ファーストエイドソサエティ
東京都北区西ヶ原4-33-11
TEL：03-5974-3747
FAX：03-3910-1368

主催 ボランティア安全衛生フォーラム実行委員会

後援(予定) 内閣府、総務省消防庁、厚生労働省（申請中）、国土交通省

協力 日本財団、災害救援ボランティア推進委員会、厚生労働科研「地域健康危機管理におけるボランティア研究」班、特定非営利活動法人千葉レスキューサポートバイク、災害医療訓練模擬患者研究会、株式会社ダイナックス都市環境研究所

参加費無料／申込不要